

Q. 文化の取り組みには どのようなものがありますか？



大津市
秋の西教寺

昭和59年3月、関連会社「しがぎん経済文化センター（KEIBUN）」を設立。
当行と連携し、地域の経済活性化、文化振興を願って、さまざまな情報発信やイベントを開催。
おかげさまで今年で創立25周年を迎えました。

地域社会との共存共栄

25周年記念演奏会を開催



佐渡裕（指揮）兵庫芸術文化センター管弦楽団

創立25周年の記念事業として、「びわ湖 音楽の春“GIFT”2009」を、平成21年4月4日から6日まで3日間、びわ湖ホール（全館）で開催しました。

クラシック音楽をメインに、ジャズや日本の伝統芸能など、国内外のトップアーティストと、湖国ゆかりの俊英奏者の皆さまにご出演いただき20公演を企画。のべ8,500名のお客さまにご来場いただき、湖畔の美しい景色のもと、一流の音楽との触れ合いをお楽しみいただきました。



お客さま参加型イベントとして、毎年12月に「第九コンサート」を開催しています。

合唱の参加希望者は、県内を中心に広く一般募集し、夏から練習を重ね、その成果を披露。「歓喜の歌」に想いを込めて、湖国の歳末を華やかに彩ります。



KEIBUN文化講座で 生活に潤いを

地域の皆さまに余暇を利用して専門的な事柄を楽しく学んでいただくため、平成10年より「文化講座」を開催しています。毎年春と秋の2回にわたり、歴史や絵画、文学など10コースを用意。「知」と「心」の新境地を求めて、多くの方に受講いただいています。



文化講座受講生による作品展

KEIBUN文化講座一覧（平成21年秋）

- 枕草子の世界
- 文学を通してみる近江の風景
- 万葉秀歌を読む
- 戦国武将に学ぶ
- 名画をめぐって—ルネサンス編
- 天武天皇を考古学する
- 写らないものを感じさせる写真
- 名作オペラへご招待
- 世界遺産にみるイスラム文明
- 初めての日本画

お問い合わせ先：しがぎん経済文化センター
電話 077-526-0005

情報誌の刊行

地元で最新の情報を提供するため、月刊経営情報誌「かけはし」（14,000部）や季刊文化情報誌「湖」（28,000部）を刊行、ホームページ（<http://www.keibun.co.jp>）でも発信しています。

「かけはし」では、頭取と地元企業のトップによる「かけはしTOP対談」や県内経済動向、アジア情報など、経済の最新情報や日々の経営に役立つノウハウを発信しています。



地元テレビ局の 経済情報番組を提供

平成17年4月から、びわ湖放送「滋賀経済NOW」を提供しています。

同番組は、「元気印」の湖国企業を紹介し、視聴者の皆さまに経営上のヒントをつかんでいただこうとの趣旨で制作・放映されています。

